

Kumamoto Concrete Diagnosis association



設立10周年記念誌



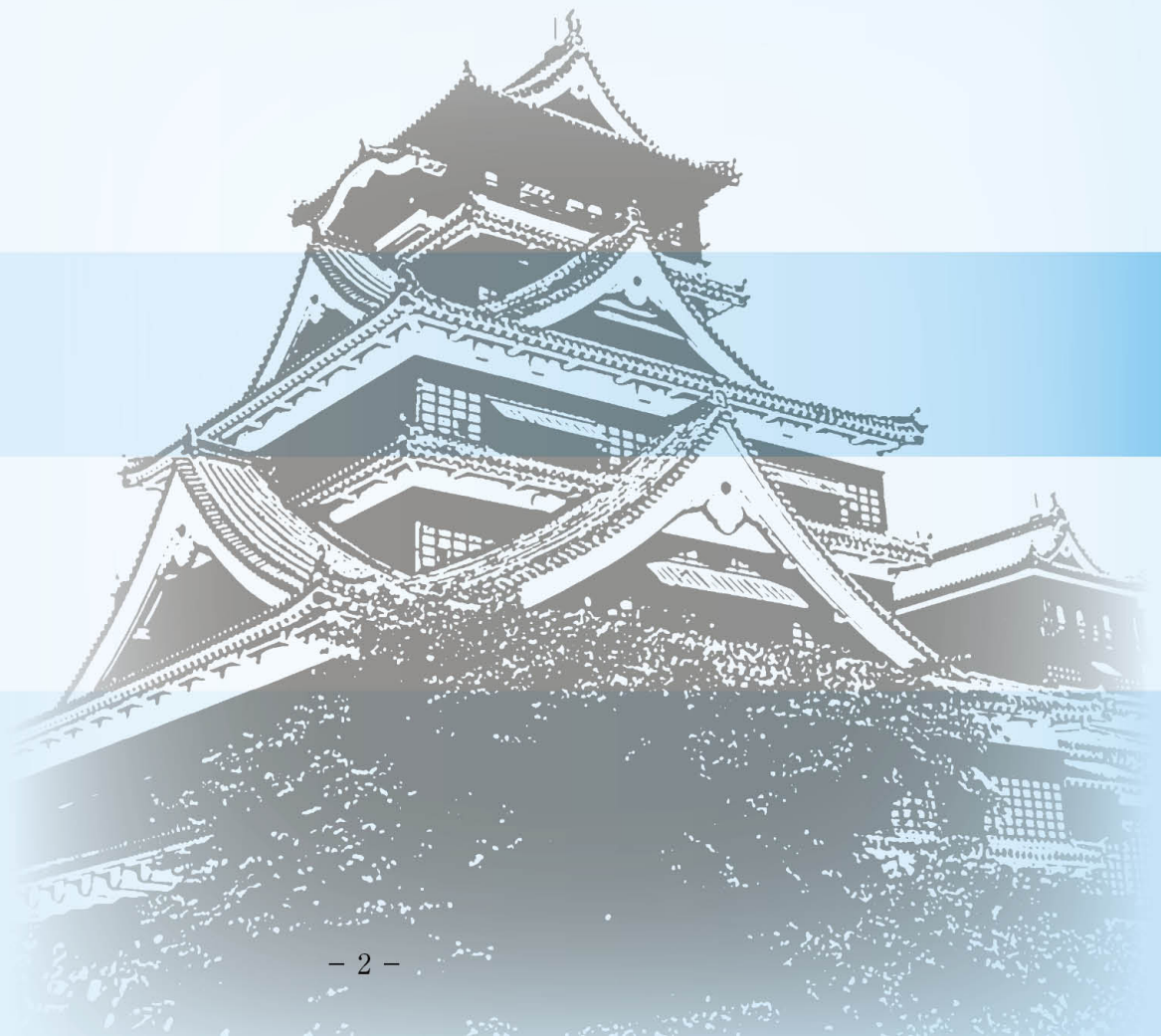
一般社団法人  
熊本県コンクリート診断士会

一般社団法人 熊本県コンクリート診断士会  
設立10周年記念誌

## 目次

設立10周年によせて……………	2
学術会員より……………	7
会員より……………	13
沿革……………	27
理事沿革……………	59
現役員……………	63
会員名簿……………	65
協賛広告……………	71
あとがき……………	76

設立10周年によせて



## 熊本県コンクリート診断士会 10周年を迎えて

一般社団法人 熊本県コンクリート診断士会

いさみ ひでただ  
代表理事 勇 秀 忠  
(株)興和測量設計



平成24年7月7日に熊本県内のコンクリート診断士21名が参集し、任意団体 熊本県コンクリート診断士会が設立された。設立時の活動目的は「コンクリート構造物の調査、診断技術を有するコンクリート診断士の研究・研鑽などへの支援をはじめ、インフラの維持・保全を図るための具体的な調査・診断等への支援や独自の事業等を行い、県民の安全・福祉に寄与する」ことを掲げている。この目的は現在も踏襲しているところです。

設立当初から年間活動として、コンクリート診断士直前対策講座講習会開催や(一財)熊本県建設技術センター主催のコンクリート品質管理の講義等を担うコンクリート診断士を派遣してきた。連携強化を進める中で、(一財)熊本県建設技術センター研修事業の講義協力に関する協定書を令和3年3月23日に締結した。これまで以上に講習会講義の充実に傾注していきたいと意を新たにしている。

また、熊本県内の土木・建築技術者向けのコンクリート技術講習会の実施や隔年での業務報告会や毎年度開催の現場見学会などを実施し、診断士の知見向上にも努めている。これらの事業等を継続する中で、一般社団法人化してさらなる県民への安全・安心に応えるために平成29年6月19日に法人登記し新たな歩みにより、令和4年の7月10周年を迎えることができた。歴代の代表・役員をはじめ会員各位や当診断士会を支えていただく賛助会員企業等の協力があった賜物であると確信しています。

これからも県民の疑問や質問等様々な声に真摯に応えるとともに県内自治体等でのコンクリート診断士有資格者を活用して貰えるように積極的にPRして、社会インフラを下支えする専門の団体として更なる研究や研鑽に努めて、地域のシンクタンクを目指し、更なる社会貢献活動を進めて参りたいと思います。

最後に第三者機関としての真摯な対応と強い倫理観を持って、これからも取り組んで行きたいと思えますので関係各位のこれまで以上のご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

10<sup>th</sup>  
Anniversary  
2012-2022

## 10周年記念誌に寄せて

熊本県土木部長

かめざき なおたか  
亀崎 直隆



この度、一般社団法人熊本県コンクリート診断士会が設立10周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。

貴会には、設立当初から本県の土木行政の推進に御支援、御協力をいただいておりますことに、この場を借りて御礼を申し上げます。コンクリート診断士としての技術力研鑽への取組みをはじめ、官民の技術者を対象とした講習会等を通じ、コンクリートに関する専門的な知識・技術の普及などに継続的に御尽力されていることに深く感謝申し上げます。

貴会は、社会資本の最も根幹となるコンクリート構造物の老朽化等に伴う診断、評価及び補修・補強対策の立案等を行う専門家集団の組織として、平成24年7月に設立されました。その後の貴会の熱心な活動が信頼性の向上に繋がり、コンクリートの専門家としての意見・見解を求められる機会が大幅に増えたことから、更なる信頼性向上等のために、平成29年6月に一般社団法人に移行されました。コンクリートが多様化する中、会員のスキルアップはもとより、会としての信頼も築かれ、県民の安全・安心に寄与すべく今日まで様々な活動を行われています。

また、県管理の多くのコンクリート施設についても、構造物の老朽化等による損傷への適切な助言や今後の維持管理等に関する提案等、本県の社会資本の適切な維持管理に種々の技術的な支援を賜っております。

技術の普及啓発という点では、設計・施工・メンテナンス等に関する専門的な知見習得を目的とした講習会等を開催されております。(一財)熊本県建設技術センターでの研修会には、多くの講師を派遣していただき、多数の県職員、市町村職員及び建設関連企業がコンクリートに関する専門知識の習得に努めております。現場で直接、コンクリートの施工に携わることがない発注者側の職員にとっては、技術力向上に直結する、とても有意義で貴重な研修会であると認識しております。

さらに、本県や市町村からの要望を受け、「初期ひび割れ(初期欠陥)に関する考え方 2014年7月」や「新設コンクリート構造物のひび割れ調査・診断 積算資料 平成30年4月」など、技術者のバイブルとなる貴重な書籍を発刊されるなど、その時々々のニーズに応じた取組みも行っていただいております。

このような熱心な活動・取組みの中で、発足当時21名の会員数は、現在、約100名まで増え、コンサルタント、建設関連企業及び県・市町村職員等の多様な構成員のもと、本県のコンクリート技術に関する礎となる大きな組織へ拡大・拡充されてきました。加えて、近年は、世界的な取組みである持続可能な開発目標として、「コンクリートのSDGs」に資する取組みも重視され、「災害に強い地域づくりと人材育成に取り組む」との目標を掲げて、更なる社会貢献に対する取組みも推進しておられます。

## 10周年記念誌に寄せて

この10年という節目の中で、大変な御苦勞もあったと拝察致しますが、貴会の技術の研鑽と取組み、地域発展への功績に対し、改めて敬意を表します。

本県のみならず、全国的な課題として、高度成長期以降に整備されたコンクリート構造物を始めとする社会資本は、建設から50年以上経過する割合が、今後加速度的に増加する見込みです。引き続き、県民の安心・安全を確保していくためには、老朽化する多くの橋梁やトンネル等の社会資本を、適切に維持管理・更新していく必要があります。

本県では、現在、減災・防災、国土強靱化のための5か年加速化対策等も含め、予防保全的な施設の維持管理に取り組んでおります。今後とも、調査、補修・補強対策等においては、コンクリート診断士の皆様の知見・知識は必要不可欠であり、その役割は益々重要になっております。私どもも、引き続き貴会としっかりと連携して、コンクリート構造物の適切な維持管理に取り組んで参りたいと考えております。

結びに、本県の社会資本の安全・安心の確保や長寿命化対策を着実に進めていくためには、勇理事長の持論でもあります、貴会が『地域のシンクタンク(頭脳集団)』としての役割を発揮していただくことが重要です。今後とも、更なる技術の研鑽を積み、本県のコンクリート技術について専門的な知見から幅広い取組みを展開していただくことを御期待申し上げます。

貴会の一層の御発展と会員皆様方の御活躍と御健勝を祈念致しまして、設立10周年のお祝いの言葉とさせていただきます。この度は、誠におめでとうございます。

